## 2023 年度　日本農作業学会春季大会　（第 59 回通常総会・第 58 回講演会）　プログラム

第一日　3 月 20 日（月）　9：15　開会

| | |
|---|---|
| | 文部科学省研究交流センターおよびオンライン |
| 9：15～ | 受付 |
| 9：45～11：15 | ポスターセッション（優秀学生賞） |
| コアタイム<br>10：00～11：00 | P01<br>有機質資材を併用したスイートコーン栽培における土壌内窒素の動態および生育，収量への影響<br>○齊藤孝太朗（北海道大学）・平田聡之（北海道大学） |
| | P02<br>ヘアリーベッチを導入したソバ栽培体系における養分動態と生育特性の評価<br>○鈴木悠響（北大院環境）・平田聡之（北大 FSC） |
| | P03<br>傾斜果樹園における野生鳥獣モニタリング可能な自動運搬車輛の開発<br>○森本奏多・飯田賢一・福岡寛・大谷真弘・岩田大志（奈良高専） |
| | P04<br>大規模軟弱葉菜施設栽培での土壌の経年的データ解析による改善手法の検討<br>○齋藤竜馬（茨城大学大学院農学研究科・アイアグリ株式会社）・岡山毅（茨城大学）・淺木直美（茨城大学）・小松﨑将一（茨城大学） |
| 11：15～12：45 | 昼食・休憩（90 分間） |
| 12：45～13：40 | 総会 |
| 13：50～14：45 | 学会賞等授与および受賞講演 |
| | G1　学術奨励賞：<br>ジャガイモの単収増加を目指した国内製プランタによる植付け技術の開発<br>国立卓生（農研機構） |
| | G2　優秀地域貢献賞：<br>知的障害者が自立的に農作業を行い地域に貢献するための実践と研究<br>佐竹寛之（奈良西養護学校） |
| 14：45～16：45 | テーマセッション<br>「農業生産環境の変化に対応した鳥獣害対策」<br>司会：竹内正彦（農研機構） |
| | T1<br>獣害発生状況の可視化・共有化ツールの開発と侵入防止の技術開発およびその効果検証<br>○山端直人（兵庫県立大学） |
| | T2<br>電気柵の草刈り軽減に繋がる鉄鋼スラグ舗装の耐久性について<br>○法眼利幸・糸川隆康（和林試）・角川敬造・山本浩之（和果試）・山端直人（兵庫県大） |
| | T3<br>除草ロボットによる獣害防護柵の雑草管理<br>○藤本竜輔・金井源太・好野奈美子（農研機構） |
| | T4<br>果樹のジョイント栽培における機械作業に必要な獣害対策資材の設置方法<br>○中村大輔・岩波宏・藤本竜輔・小坂井千夏・田中惣士・竹内正彦（農研機構）・小島由美子（宮城県）・奈良浩照（JA つがる弘前） |
| | 総合討議 |

第二日　3 月 21 日（火）　9：00　開会

| | つくば国際会議場およびオンライン | |
|---|---|---|
| | A 会場 | B 会場 |
| 9：00～10：15 | 座長：金井源太<br>（農研機構東北研） | 座長：帖佐直<br>（東京農工大） |
| 9：00～9：15 | A01<br>UAV を用いたキャベツの個体別生育診断技術の開発<br>○落合将暉・石井孝典（農研機構九沖研） | B01<br>北海道十勝地方の畑作経営におけるスマート農業技術の導入効果と今後の展望<br>○馬渕富美子・花岡伸光（北海道農政部）・三宅俊輔（帯広畜産大）・木村智之・関口建二・大畑美結（道総研十勝農試）・前塚研二・秋江大雅（十勝農協連） |
| 9：15～9：30 | A02<br>写真測量ドローンを用いた高精度ほ場計測のための工夫と留意点<br>○山下貴史（農研機構農機研）・田中惣士（農研機構東北研） | B02<br>ロボットトラクタ対応スプレーヤのブーム自動開閉システムの開発<br>○水野雄介・藤本与・吉田涼・佐藤禎稔（帯広畜産大） |
| 9：30～9：45 | A03<br>UAV 写真測量の自動化およびその応用例<br>○官森林・高橋仁康・深見公一郎・伊東栄作・渡邊修一（農研機構九沖研） | B03<br>ミッドマウント型管理作業車による大豆播種作業における RTKGNSS 自動操舵システムの効果<br>○進藤勇人・齋藤雅憲（秋田農試） |
| 9：45～10：00 | A04<br>農作業支援におけるマルチオペレーション台車の開発<br>○藤本和哉・飯田賢一・中村篤人（奈良高専） | B04<br>自動操舵トラクタを利用した子実用トウモロコシの畝立て直播技術<br>○深見公一郎・松尾直樹・伊東栄作・中野恵子・官森林・高橋仁康（農研機構九沖研） |
| 10：00～10：15 | 総合討論 | 総合討論 |

| | A 会場 | B 会場 |
|---|---|---|
| 10：15～11：45 | 座長：辻博之<br>（農研機構北農研） | 座長：深見公一郎<br>（農研機構九沖研） |
| 10：15～10：30 | A05<br>無コーティング種子水稲湛水直播栽培の現地実証試験（2022 年）―埼玉県鴻巣市における 6 月中旬播種圃場において―<br>○高橋行継（宇都宮大）・加村政寿（自営）・国立卓生（農研機構東北研）・白土宏之（農研機構中農研） | B05<br>降雨・先行降雨指数が農作業に与える影響の検討<br>○朱里勇治（農研機構北農研）・今田伸二（JA 鹿追町） |
| 10：30～10：45 | A06<br>不耕起田植機の植溝形成ディスクが水稲の生育・収量に与える影響<br>○庄司浩一（神戸大）・安達康弘（島根農技セ） | B06<br>簡易ビニールハウスを用いた有効積算温度法によるスイートコーンとホウレンソウの収穫期の予測式<br>○西澤国之（長野県丸子修学館高） |
| 10：45～11：00 | A07<br>高低差のあるほ場の緩傾斜合筆方法と作業性の検討<br>○齋藤秀文・田中惣士・宮路広武（農研機構東北研） | B07<br>レタスの収穫作業に伴走する収穫運搬台車を利用した作業体系の提案<br>○牧田英一・山根俊（静岡農林研）・鈴木智久・桜井昌広（カワサキ機工） |
| 11：00～11：15 | A08<br>車両系農作業ロボットの安全性確保のための技術要件の検討－乗用トラクタ走行時における後輪の沈下を抑えるほ場進入路法尻補強方法<br>○菊池豊，小林慶彦，梅野覚，田中正浩，紺屋秀之，松本将大，向霄涵，藤田耕一，真仁田豊，松本功平，藤井桃子，冨田宗樹（農研機構農機研） | B08<br>NFC タグを利用した収穫物のほ場 - 荷受け間の紐づけスマート化に関する研究<br>○加藤仁（農研機構中農研）・関正裕（農研機構中農研） |
| 11：15～11：30 | A09<br>中山間地域農業における電気軽トラック利用の可能性 ―消費電力量推定における風の影響―<br>○田島淳・鈴木淳史・佐藤伸哉（東京農業大） | B09<br>小型除草ロボットの作業計画策定支援<br>○小林有一・三浦重典・三宅康也・小越将行（農研機構基盤技術研究本部） |
| 11：30～11：45 | 総合討論 | 総合討論 |

| | |
|---|---|
| 11：45～13：15 | 昼食・休憩（90 分間） |

| | A 会場 | B 会場 |
|---|---|---|
| 13：15～14：30 | 座長：小林有一<br>（農研機構農ロボ研） | 座長：庄司浩一<br>（神戸大） |
| 13：15～13：30 | A10<br>カバークロップや地域自給肥料の活用による寒玉キャベツの生産性向上<br>〇渡辺翔史（茨城大） | B10<br>ラッカセイ掘取機の改良と掘取り前の茎葉切除による地干し作業の省力化<br>〇奥畑徹之（千葉農林総研） |
| 13：30～13：45 | A11<br>中山間地域における耕作放棄地の適正管理に関する研究―四輪駆動式ロボット芝刈機を用いた急傾斜地の雑草管理―<br>〇田島淳･太田士（東京農業大）･堀隆雄（おくたま海沢ふれあい農園） | B11<br>青汁原料ケールの周年自給を実現する生産体系<br>〇荒木肇（新潟食料農業大） |
| 13：45～14：00 | A12<br>市販除草ロボットの獣害防止柵周囲での運用について<br>〇金井源太･好野奈美子（農研機構東北研）･藤本竜輔（農研機構畜産研） | B12<br>自家採種の継続が常陸秋そばの種子品質に及ぼす影響<br>〇林久喜（筑波大）・宇田拓海（筑波大） |
| 14：00～14：15 | A13<br>断続的な草刈りや踏圧が雑草の生育に及ぼす影響―低出力・小型ロボット開発のための予備試験―<br>〇帖佐直･太田真由･藤井義晴（東京農工大）･菊地麗（農研機構西農研） | B13<br>原々種と比較した産地の異なるソバ子実品質の変異<br>〇林久喜（筑波大）・石川莉彩（筑波大） |
| 14：15～14：30 | 総合討論 | 総合討論 |

| | A 会場 |
|---|---|
| 14：30～15：45 | 座長：関正裕<br>（農研機構中農研） |
| 14：30～14：45 | A14（オンライン講演）<br>A 県 B 圏域内の就労支援現場における農福連携の実態と課題<br>〇林典生（南九州大） |
| 14：45～15：00 | A15<br>局所耕うん器具型通気性試験装置の開発～試験圃場における乾燥密度の推定～<br>八島巴美・〇田島淳・土屋諒悟・佐藤伸哉（東京農業大） |
| 15：00～15：15 | A16<br>ポテトハーベスタにおける巻き込まれ事故リスクの低減に向けた危険源の特定と深度カメラによる手の侵入検出<br>〇小林慶彦・梅野覚・菊池豊（農研機構農機研） |
| 15：15～15：30 | A17<br>移動軌跡を利用した作業評価手法に関する研究（第 6 報）<br>〇建石邦夫（農研機構中農研） |
| 15：30～15：45 | 総合討論 |